

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.10

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門産品販路開拓支援事業	担当部署	戦略企画課			
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市総合戦略			
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成	28 年度	
政策(中項目)	1	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				終期	未定	
(小項目)		産業						
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化						
基本事業	1	地場産業の育成と振興						
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無								
<input checked="" type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求								

◎事業概要(PLAN)

目的	市内事業者の販路拡大を支援し、経営力向上を目指す		事業内容(R1)	①地方銀行と協力し、本市地場産品の販路開拓を支援するため、地域商品に特化した専門商談会「地方銀行フードセレクション」や『食の魅力』発見商談会にて、出展ブースを買い取り、本市内事業者が出展しやすい環境を整え、販路開拓の支援を行う。				
実施方針	地方銀行と協力・連携し、大規模商談会へ市内事業者が参加できるように、出展に係る費用等を市が負担し、市内事業者の販路開拓を支援する。			当初からの変更点				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	「地方銀行フードセレクション」出展事業者数	3	2	3	3	3	社
	2	『食の魅力』発見商談会」出展事業者数	2	2	2	2	2	社
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	事業活用事業者数		5	4	5	5	5	社

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	フードセレクション出展3社 食の魅力発見商談会出展 2社	フードセレクション出展2社 食の魅力発見商談会出展 2社	フードセレクション出展4社 食の魅力発見商談会出展 2社	継続	継続

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	657	0	657	657	657

事務事業名	鳴門産品販路開拓支援事業
-------	--------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		地方銀行と協力し、本市地場産品の販路開拓を支援するため、地域商品に特化した専門商談会「地方銀行フードセレクション」や「『食の魅力』発見商談会」にて、出展ブースを買い取り、本市事業者が出展しやすい環境を整え、販路開拓の支援を行った。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	「地方銀行フードセレクション」出展事業者数	2	4	-	-	-	社
	2	「『食の魅力』発見商談会」出展事業者数	2	2	-	-	-	社
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	事業活用事業者数		4	6	-	-	-	社
	目標達成率(実績/目標)			120.0	-	-	-	%
事業費推移 (円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		432,000	0	648,000	0	648,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0		
一般財源		432,000	0	648,000	0	648,000		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	事業活用事業者数		成果指標に対する所見	活用事業者数は増え、出展事業者からはおおむね好評を得ており、事業者の販路拡大に一定の効果があった。		
	目標	5	社				
	実績	6	社				
	評価	A:目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	活用事業者数は増加し、事業者の販路拡大に一定の効果があった。しかしながら、出展希望する事業者が限られてきていること、希望する事業者自身が独自で販路拡大の手段確保ができつつあることから、市が出展費用を負担して行う今の形での事業の検討・見直しが必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	事業の検討を行う			
	令和3年度	事業の検討を行う			